

【支部だより】

平成 22 年度 四国支部総会報告

楠目 雅彦(49 回生)

去る平成 22 年 10 月 30 日(土)、空前の坂本龍馬ブームに沸く高知市内の料亭「葉山」に於いて、前回の徳島市での開催以来、2 年ぶりの学友会四国支部総会が埜藤学友会会長、高橋京都医療科学大学学長、笠井学友会理事の来賓を迎え、支部会員 16 名が出席し開催されました。

総会に先立ち、島津製作所の葛西氏による「デジタルマルチスライス断層 トモシンセシス」の講演が行われ、全員が熱心に聞き入り、話題の機器「トモシンセシス」の素晴らしい臨床画像を知ることができました。

続く総会では、矢野四国支部長の開会の挨拶に始まり、埜藤学友会長より、学友会活動報告があり、最後には、「学友会活動を若手会員の参加で盛り上げて欲しい」との、今後の学友会の更なる発展への期待が寄せられました。次に、高橋大学長より現在の大学受験者、国家試験および就職状況等のお話があり、大学の近況について知ることが出来ました。

その後、今年卒業された常光さんの乾杯の音頭で懇親会が始まり、初対面の会員も多くいましたが、すぐに和気藹々と打ち解け、参加者の自己紹介、近況報告、校歌斉唱と、楽しく盛り上がった時間が流れ、集合写真撮影後、次回の愛媛県での開催と再会を約束し、笠井理事の音頭による一本締めにて閉会いたしました。

初めて参加した会員からは、「あらためて、同門の仲間がいることの素晴らしさを感じました」との声も聞かれ、学友会の同門の絆のようなものを、再確認することができたように思います。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらず、ご出席いただきました埜藤学友会会長をはじめ、高橋学長、笠井学友会理事、ならびに、ご協力いただきました島津製作所の方々に御礼を申し上げます。



出席者

高橋 隆 学長、埜藤真純 学友会長(43 回生)、笠井俊之 学友会理事(49 回生)、
矢野雅昭 四国支部長(45 回生)、遠山坦彦(34 回生)、播磨隆(47 回生)、田原徳建(47 回生)、
松本教雄(48 回生)、楠目雅彦(49 回生)、嘉陽伸子(50 回生)、秦泉寺節夫(52 回生)、山中勉(58 回生)、
石山喜久(58 回生)、細川博明(58 回生)、森尾一夫(59 回生)、大野浩之(59 回生)、山本浩徳(62 回生)、
山中こず恵(短 5 回生)、常光麻那(短 19 回生)、島津製作所 3 名

以上

* 通巻 198 号 2011 年 1 月 10 日発行(H22 - No.4)より